

「笑顔・自信・絆」のある学校 校訓 自主・心・健康

生徒数
1年生 102名
2年生 97名
3年生 147名
計 346名

瑞穂中だより 「1月号」 令和 3年 1月8日発行

「感謝と前進する 瑞穂中！」

校長 豊田 康人



1月は、睦月。毎日、校長室で前回の学校だよりで語った佐々木先生の写真に手を合わせている。一年が経過し、長かったか或いはあっという間だったか分からない。しかし、職員を思う気持ちがそうしている。

初日の出が新年の希望をつなぐように、日本の希望が世界に轟いた。それは、小惑星リュウグウの試料を収納した探査機「はやぶさ2」のカプセルが地球に帰還した。

星に着陸し、砂や岩石といった試料を地球へと持ち帰ること。それが、太陽系が誕生した当時の状況を知る上での大きな手がかりがあると考えられたもの。地球や人類誕生などの手がかりがつかめるかもしれないという壮大なミッション。2億km以上離れたリュウグウに誤差60cmほどで着陸と採取を成功させた。「1km先にいるテントウムシを狙う」ほどの正確さという。このミッションを実施するには、壮大なプロジェクトで1万回以上の訓練があったという。



その「はやぶさ2」の本体に部品供給した埼玉のキットセイコーの田辺社長にお話しを伺った。今回の「はやぶさ2」には、さまざまな機材を取り付けるため、同社が製造したチタン合金製のねじ約100種類、約500本が使用されている。(はやぶさ2の金色の本体部分に使用)



田辺社長のネジの一本にかける熱い思い、高い技術力の育成、そして会社経営手腕に感激した。宇宙開発事業からの信頼で50年を経過し、人工衛星約80機のねじを製造された。作業工程の後半は、全て手作業で仕上げる。また、F1レーサーにも同社のネジが使用されているという。



入社当時、社員の多くは、技術の素人だったという。作業が早い人、時間がかかる人。しかし、どんな人でも時間をかければできるという。この高い技術力と信頼は、「感謝」、そして「お互い様」という田辺社長の理念が染み渡っているからだろうと思う。40代の社長との会話は100分間であったが、あっという間の時間だった。



「感謝」「お互い様」。現在、最も必要な言葉をいただいたような気がする。

緊急事態宣言は発令された今、新型コロナウイルスの沈静化、収束に向かい全員で協力したい。また、最前線で業務に尽力されている医療従事者に「感謝」を忘れない。

令和3年の始まり、希望をつなぎ、「前進」することを諦めずに進みたい。「チーム瑞穂」は、新年も「笑顔」「自信」「絆」が溢れる学校を目指します。保護者の皆さま、御支援・御協力をお願いいたします。

1月の予定

月	火	水	木	金	土	日
11	12	13	14	15	16	17
成人の日	ｸﾞﾚｯｺｰ設置	給食開始 保健委発表				千葉私立高校 受験集中日
18	19	20	21	22	23	24
民生委員 児童委員会議 千葉私立高校 受験集中日	千葉私立高校 受験集中日	図書委発表	専門委員会	埼玉・東京私立高校 受験集中日 (3年短縮授業)	文学講演会 英検 埼玉・東京私立高校 受験集中日	埼玉・東京私立高校 受験集中日
25	26	27	28	29	30	31
		学校関係者 評価委員会 給食委発表			読書フェスティバル	

健康・保健教育に力を入れる！

12月は保健的行事などが多く実施されました。本来であれば、年度初めに行うべきものもありましたが、今年度はコロナ禍に見舞われなかなか叶わず…。養護の先生が中心となり、保護者と共に健康生活について考えたり、体育の授業では講師を務めたり、また歯科医の助手として検診をおこなったりしました。

健康安全が不安定な今だからこそ、日頃から学校保健教育の徹底を心がけていきます！



より良い瑞穂中学校をつくりあげていくために

12月に保護者の皆様に御回答いただいたアンケートの集計を紹介させていただきます。この結果を基に、生徒たちのためにより良い教育活動ができるよう努めていきたいと思っております。

- 1 学校生活について …3.38pt
- 2 学力向上について …3.37pt
- 3 健康・安全について …3.34pt
- 4 生徒指導・教育相談について…3.30pt
- 5 地域との連携について…3.52pt

(4.0pt が最も良い数値)

コンピュータに負けない、人間の表現する力

どんなにIT化が進んでも、人間の想像(創造)力と表現力は、常に学校教育の基盤となっていきます。美術部製作の十数メートル四方のちぎり絵、体育の創作ダンス、国語の書初めなど、生徒たちの表現力の向上を目指す瑞穂中です！



わたしのオススメ1冊

今月の紹介者 << 大島 美沙 先生 (英語科) >>

『オー・ヘンリー短編集』 オー・ヘンリー 著

『短編の名手』と呼ばれる、オー・ヘンリー。短いお話にも関わらず、物語が二転三転し、結末がどうなるかわからず最後の最後までワクワクしながら読み進めることができます。私がおススメするのは、『賢者の贈り物』です。クリスマスの贈り物をめぐってお話で、意外なおチでめくられています。ほっこりとした気持ちになれる物語なので、寒い冬に読んで温まってみてはいかがでしょうか？その他、数々の心温まるストーリーが収録されていて、何度でも読みたくなる一冊です。

日本一読書のまち三郷

体育館壁画 12/5(土)

夏休みから「合唱祭」に向け準備をしてきましたが、「合唱祭」中止となりやっと体育館に設置しました。



赤い羽根募金 12/7(月)~9(水)



「赤い羽根募金」を行いました。登校時に、生徒会役員がアプローチ広場にて募金活動を行いました。



書初めの授業

各学年とも国語の授業にて「書初め」を始めました。半紙に堂々とした字を書いています。終業式前に教室に展示しています。金賞の生徒は、県へ出品に向け冬休み練習をしています。



歯科検診 12/3(木)~

各学年で遅くなりましたが、「歯科検診」を行いました。虫歯になっている生徒が非常に少なかったです。学校歯科医の先生からお褒めの言葉をいただきました。



保護者会 開催

1年12/16(水)2年12/17(木)

本年度初めて保護者会を1・2年生で開催することができました。

2つの学年とも、「進路学習」の一端を生徒の発表という形で行いました。その後、学年の様子や今後の予定などを伝え、最後に、スライドショーを用いて、生徒の生き生き学校生活をしている様子を見ていただきました。



学年集会 12/22(火)~

各学年で、長い2学期制限はありましたが、濃い2学期を振り返りました。各学年学級委員からのまとめと抱負を語り、先生からは「冬休みの過ごし方」を伝えました。また、レクや2学期のまとめのスライドショーを映写した学年もありました。それぞれの学年で工夫した集会でした。



表彰集会 12/7(月)

今年3回目となった全校での集い。青空の下、様々な分野での表彰された「チーム瑞穂」の表情は輝いていました。数々の受賞おめでとうございました。



学校保健委員会 開催 12/22(火)

学校医3名の先生をお招きし、「子供の健康を考える」をテーマに、本校の生徒の健康状態とコロナ禍における休校期間の生徒の生活の様子などのデータを挙げ、参加者と「コロナ禍における生徒の心身の健康管理」について協議を行いました。



第2学期終業式 12/24(木)

長い97日間の2学期を終え、無事に学校生活を送ることができました。放送による式では、各学年・生徒会の代表者からの言葉と校長式辞を行いました。代表生徒は堂々と発表してくれました。

修了式後、各教室にて、担任の先生から一人一人に「通知表」が配られ、生徒は一喜一憂していました。



第44回 サイマケアンソングコンテスト東部地区大会
銅賞 三郷市立瑞穂中学校 木管五重奏
税に関する中学生の標語
三郷市長賞 3年田中優太
三郷市教育長賞 3年宅間優生
埼玉県小中学生化学コンクール
埼葛予選 金賞 1年 矢口湧太
三郷市青少年の主張大会
優秀賞 2年 高島美汐

